

2011年度 北海道精神保健福祉士協会 全道大会
(春期研修会)

演 題 発 表

抄 録 集

会 期 2011年5月15日(日)

会 場 北翔大学北方圏学術情報センター
「ポルト」1階 ポルトホール

主催：北海道精神保健福祉士協会

目 次

演題発表

1. 『精神保健福祉法上の保護者制度と成年後見制度との関連
～P S Wの視点から』 p 2
武市 浩之 (道北：市立美唄病院 医療総合相談室)
2. 『本人の希望とP S Wの葛藤～A氏の事例より』 p 3
海野 絵美 (道北：北見赤十字病院)
3. 『復職支援デイケア“リワーク ヴィレッジ”における実践と課題』 p 4
松田 慎子 (札幌東：医療法人社団 五稜会病院)
4. 『不登校・ひきこもり支援のソーシャルワーク』 p 5
野村 俊幸 (道南：H I Fはこだて若者サポートステーション)

復職支援デイケア“リワーク ヴィレッジ”における実践と課題

○松田 慎子（医療法人社団 五稜会病院）

[キーワード] 復職支援（リワーク） 実践における課題や苦勞

【はじめに】

当院では、復職支援デイケア「リワーク ヴィレッジ」を開設し、約4年が経過した。スタッフはソーシャルワーカー、臨床心理士をはじめとした多職種で構成しており、効果的な支援を行なうための検討を日々重ねている。今回の発表では、ソーシャルワーカーとして復職支援デイケアの実践を振り返ると共に、個人やグループと向き合う中で生じる課題や苦勞についても併せて報告する。

【当院の復職支援プログラムについて】

一般的に、復職支援プログラムでは、近年増加している主にうつ病による休職者の復職を支援している。休職者だけでなく、離職者の再就職支援を行なっている場合もある。擬似職場としてのリハビリ機能を有し、様々なプログラムを行なうことで、復職（再就職）に向け、生活リズムの改善、うつ病患者に特徴的な認知の再構成、集中力・体力の回復等を支援している。

当院の「リワーク ヴィレッジ」でも、休職者・離職者を対象とし、復職・再就職に向けた就労能力の回復・向上、症状の再発・再燃の防止（再休職防止）を目的としたプログラムを提供している。対象疾患は、気分障害圏を中心としている。現在は週3日（月・水・金）のデイケア帯で開催しており、利用者の復職までの準備期間や進捗状況、病状に合わせて個別に通所日数を決めている。また、3ヵ月に一度、復職（再就職）者へのフォローアップを目的とした現役生と卒業生の交流の場を設けている。

【実践内容】

当院では、利用者の自己理解（特に、考え方や行動の傾向、症状や対処法）の程度や、セルフマネジメント能力、生活リズムの安定度などを重要なものと考えて支援を行なっている。グループワ

ークと並行で個人面談を行ない、課題を共有し、デイケア場面や日常生活での実践練習を促すことも支援のポイントである。そのため、プログラム運営においては、個人が抱える課題とその時のグループの発達段階に合わせた内容を提供していくことが必要となってくる。

社会で疲れ、傷ついた利用者が、再びそこへ戻ることを選択するためには、癒される体験、勇気や自信を取り戻す経験が必要である。グループワークや個人面談を通し、利用者との協働作業を行いながら、利用者自身の力を引き出す支援を大切にしている。

様々な事情により不適応状態となったり、参加が長期化したりする利用者への支援、家族や職場への働きかけには課題も多い。また、スタッフ自身も職業人としてのモデルのひとつとなるため、体調管理を含めたセルフマネジメントに一層気を配る必要がある。このような課題や苦勞を抱えながら、日々試行錯誤で実践を重ねているのが現状である。

復職支援デイクア“リワーク ヴィレッジ”における実践と課題

平成23年5月14・15日 北海道精神保健福祉士協会全道大会
松田 慎子(医療法人社団 五稜会病院)

リワーク ヴィレッジの構造

- 体調や復職時期、就職活動状況に合わせ、個別に通所日数を設定するステップ制を取り入れている。

ステップ3 (週3日参加)	月・水・金 (高負荷)	自己課題への気づきや知識を深め、日常生活で実践しながら、自己コントロール能力の向上を図る。また、就業に向けての具体的な調整に入っていく。
ステップ2 (週2日参加)	月・金 (中負荷)	心理教育を通じた学びから、前向きに自己と向き合い、自己課題への取り組みを開始。
ステップ1 (週1日参加)	月 (低負荷)	自分のペースで作業を楽しみ、対人関係に慣れ、ストレス耐性を高めていく。

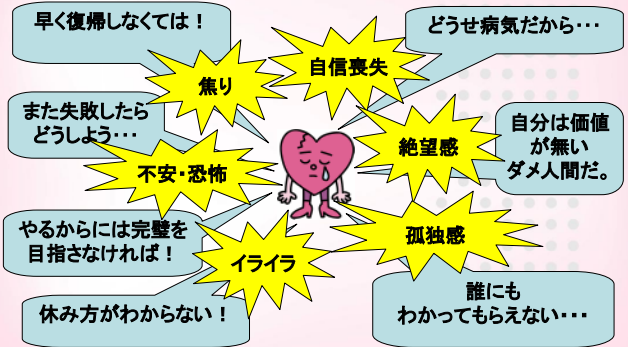


本日の内容

- 五稜会病院におけるリワークプログラム
- 実践での苦勞や課題



利用者によくみられる認知や気分



リワーク ヴィレッジの概要と機能

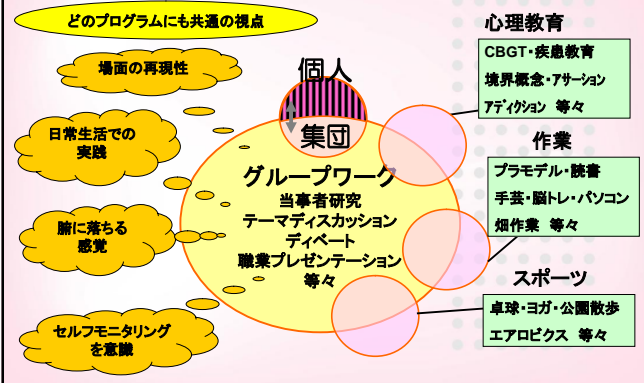
- 思春期・ストレスケア病棟含む4病棟(193床)を有する単科精神科病院。
- リワーク ヴィレッジは、2007年5月開設。(PSWは2010年12月～専属)
- 年齢層: 20代～50代で、30代が最も多い。
- 対象: 気分障害圏の休職者または離職者。院内通所も受け入れている。通所期限は原則1年、平均通所期間は約3～4ヶ月。
- 復職率: 約7割。うち8割は継続して就労中。
- 担当: 精神保健福祉士、臨床心理士、精神科専門看護師、スポーツインストラクター(看護師・OT)、医師

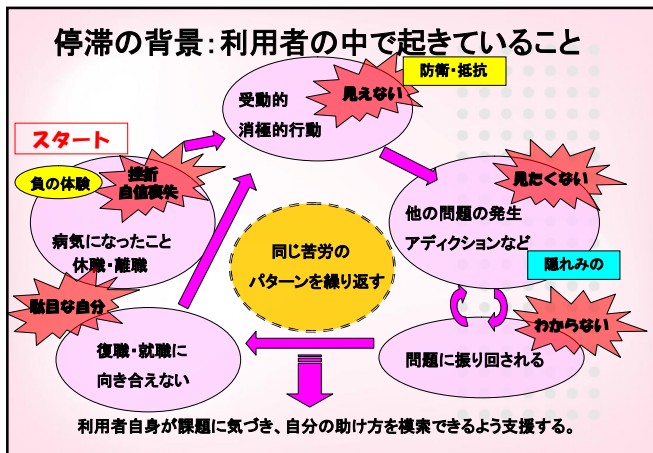
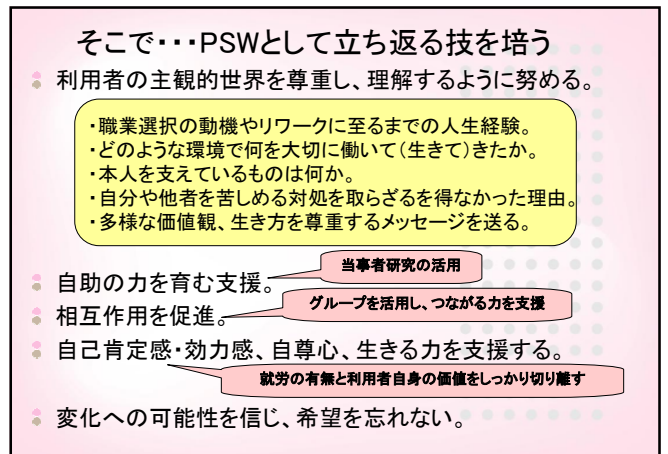
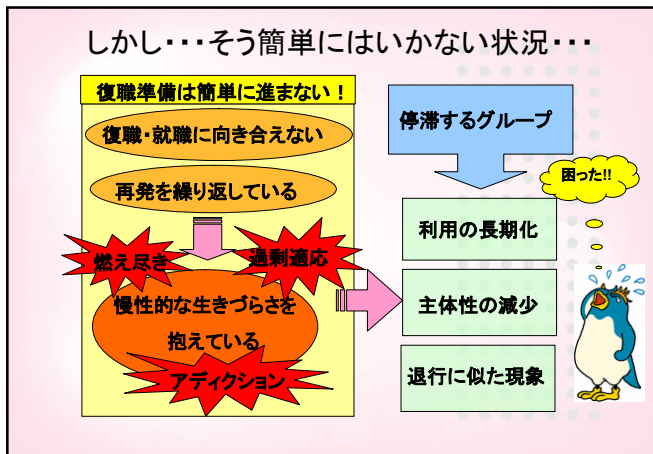
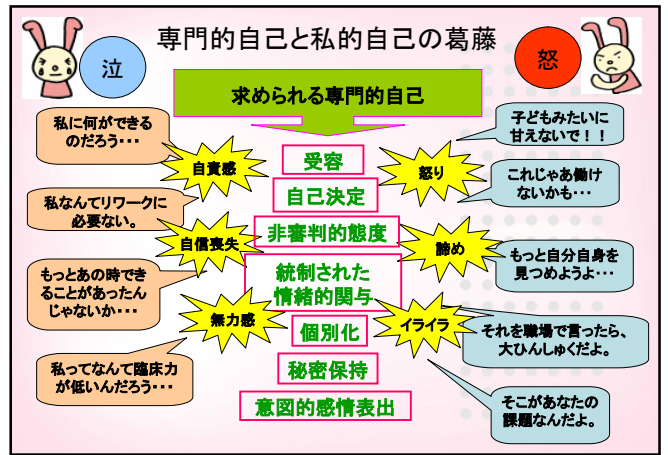
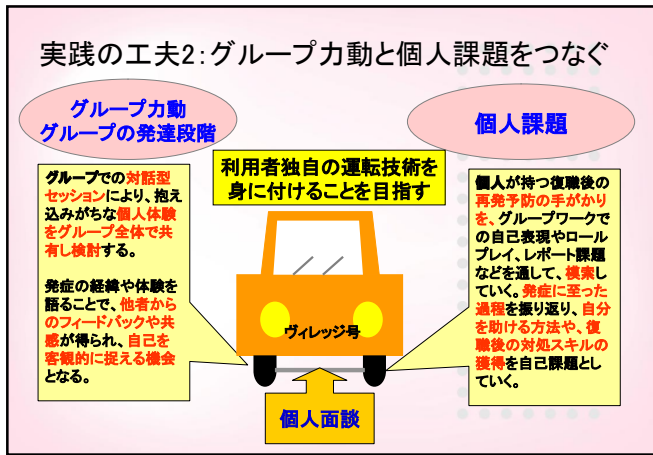
相互交流と相互学習が基盤

生活リズムの改善	考え方の幅を広げる	気分のコントロール
集中力・体力の回復	対人コミュニケーション能力の向上	

自己・他者理解を深め、再発・再休職を予防する。

実践の工夫1: プログラムの構造と内容





- ### 働く1人のモデルとして大事にしていること
- **セルフケアを大切に。** → 自分の感受性を自分で守る。
 - **初々しさを大切に。** 茨木のりこ 詩集より
→ 頼りない生牡蠣のような感受性、震えるアンテナを持ち、年老いても咲きたてのバラのように柔らかく開かれる
 - **弱音を吐き、悩みや感情を率直に表現、相談できる。**
 - 働くことって、腹立つこともあるし、つらいし、疲れるけど、楽しみ、やりがいもある...よね。
 - **笑いを大事に**しよう。でも、いつも元気に笑って働くなんてことは、普通難しい。
 - 集中と切り替え、仕事と趣味など、**バランス感覚を養う**姿勢。

まとめ:実践から得られた喜びを大切に!

- “職業人としての自分”を取り戻していく姿。
- ありのままの自分を認められるようになっていく姿。
- 生きる力を回復していく姿。
- 様々な方達と出会い、
学び、力を得られること。

自信

可能性

希望

笑顔

生命力

勇気



ありがとうございます。
私も
頑張ります♪